

神戸学院大学 第2次中期行動計画 中期計画（第3層） 2021年度達成度評価表 分野：学生支援

		評価	理由
中期目標	学生の成長を支える総合的な学生支援を実施します。		
中期計画	1 学生生活支援の充実	C	学生相互が支え合う体制（ピア・サポート制）について、学生の未来センター（全学教育推進機構室）の働きかけにより、KPC・KAC両キャンパスにおいて複数回、対面の企画（無料配布会等）を実施したことは評価できる。学生の健康管理のための健康診断受診は、コロナ禍の影響で、2020年度は希望者のみ受診としていたため、当時受診対象だった年次の学生による2021年度の受診率が低く、目標値を大幅に下回る結果となった。定期健康診断は本来、受診必須のため、その必要性を学生に理解してもらい、医務室、学生相談室および学生支援事務室の連携体制を強固にし、受診率の向上と更なる充実を期待する。
	2 修学支援の充実	B	情報処理自習室等のプリント管理システムの導入において、学生がレポート等の印刷に利用できるポイントを付与をしたことや、学生証のICカード化に伴うユーザー連携の準備を行ったことは評価できる。また、長期化する新型コロナウイルス感染拡大への対応として、奨学金の受給条件の緩和、新たな奨学金制度の創設等、支援策の更なる検討を期待する。
	3 安全で快適なキャンパス環境の充実	B	大規模災害に備え、継続して避難訓練等を実施していることは評価できる。また、第4グラウンド外野排水溝整備や、一部トイレ洋式化への改修、KPCI B号館北側通路改修など、学生アンケートなどから知り得た学生の要望をふまえた環境整備が計画どおり実施できていることは評価に値する。学内厚生施設に関しても、学生アンケートの結果を参考に、更なる充実を期待する。
	4 障がいのある学生への支援	B	障がい学生支援体制推進プロジェクトチームを発足させ、「障がい学生支援体制整備ワーキンググループ」の学長への答申内容の具現化を進める等、支援体制を進展させたことは評価できる。各学部・研究科・関係部署間、また必要に応じて学外の関係機関との連携を強化し、大学全体で取り組んでいくことを期待する。
	5 課外活動の奨励と支援	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、総合リハビリテーション学部における社会活動への学生関与については、一部実施計画を行ったものが中止となったものの、「認知症のサポート養成講座」等可能な範囲で実施していることは評価できる。課外活動所属学生の指導・育成の充実については、ハラスメント防止研修オンラインセミナーを実施する等コロナ禍でも可能な範囲で実施していることは評価できる。今後は、対象範囲を広げた研修を行うなど、更なる充実を期待する。また、広報の改善や工夫による、学生の課外活動加入率の向上も期待する。
	6 キャリア支援の強化	B	グローバル・コミュニケーション学部では、コロナ禍で受入れが厳しい状況の下、ホテル業界でのインターンシップを実施する等、可能な範囲で実行を行ったことは評価できる。また、キャリアセンターを中心とした企業との情報・名刺交換会、学内合同企業説明会、企業訪問などによる企業との接点を強化する計画については、コロナ禍の影響により目標の達成には至らなかったが、就職支援協定締結、自治体主催企画への参加、企業等との関係強化の取り組みを可能な範囲で実施したことは評価できる。今後、様々な取り組みによる就職率の向上を期待する。

評価 S：目標よりはるかに上回る、A：目標をやや上回る、B：おおむね目標どおり、C：目標をやや下回る、D：目標をかなり下回る